



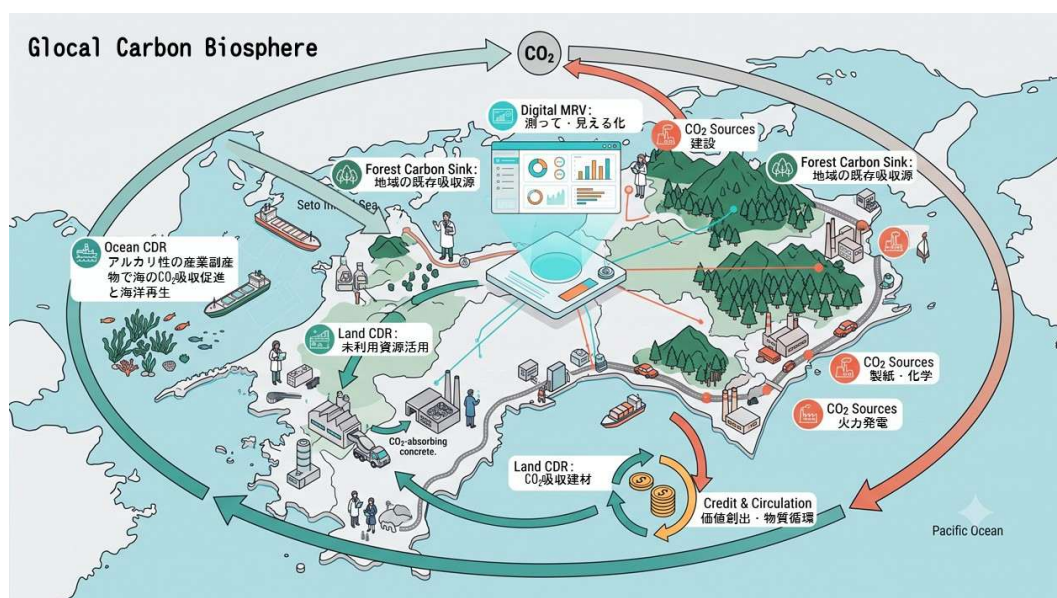
炭素の流れを、地域の解像度で描く — 四国発 Glocal Carbon Biosphere

創造工学部 材料物質科学領域

教授 高橋 恵輔

研究シーズの概要

脱炭素とは、ある地域の中で炭素がどの資源・産業・自然を通じて排出・固定・貯留されるかという「炭素の流れ」の問題です。地球規模の研究は解像度が粗く、地域固有のデータが欠けています。私の研究プロジェクトでは四国をモデルに、産業副産物や廃棄物を活かしてCO₂を固定し、その量と持続性を高精度に測定・検証（MRV: Measurement, Reporting and Verification）します。持て余していた副産物や廃棄物が炭素を取り除く資源となり、その効果が価値になる。各地の地域モデルを束ねて地球規模の炭素動態を実測解像度で描く—この構想をGlocal Carbon Biosphereと呼びます。



【利用が見込まれる分野】 製紙・パルプ／電力・エネルギー／セメント・建設／鉄鋼・化学／石灰・鉱業／造船・港湾／水産・漁業／運輸・物流／商社・金融（GX）／自治体・インフラ

研究者プロフィール

高橋 恵輔 / タカハシ ケイスケ



メールアドレス takahashi.keisuke.to@kagawa-u.ac.jp
 所属学部等 創造工学部 材料物質科学領域
 職 位 教授
 学 位 Ph. D.
 研究キーワード セメント・コンクリート／ナノ構造解析／中性子・放射光分析／耐久性・劣化／炭素動態
 ホームページ <https://keisuke-takahashi-lab.web.app/>

問い合わせ番号: EN-26-001

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで

直通電話番号: 087-832-1672

メールアドレス: ccip-c@kagawa-u.ac.jp